

堀岡 敏喜 議員 公明党



問 子どもが主役の弥富を目指せ

答 必要な施策を盛り込んでいく

○国は「子どもに関する取り組み・政策を社会の真ん中に据える」としている。本市はどう取り組んでいくのか、以下を問う。

問 子ども基本法の制定、子ども家庭庁の設置に対して、市はどう認識し、対応していくのか。

答〔健康福祉部長〕 先進的な施策を取り込むなど、子育てしやすいまちを目指していく。

問 基本法に定められた「こども大綱」また「子ども計画」策定の認識と対応は。

答 市子ども計画に子どもたちに必要な施策を盛り込んでいきたいと考えている。



▲こども基本法WEBサイト

問 周知と理解、共感と共有を深めていくためにも、弥富市版の「共育ビジョン」が必要と考えるが、市の見解は。

答 今後策定する市こども計画に反映し、本市が目指す「共育」の普及に努めていく。

問 長期的かつ総合的な政策を

答 先進自治体も参考に取り組む

問 公的な第三者の子ども権利擁護機関の設置と、設置の根拠となる条例の制定への市の見解は。

答〔健康福祉部長〕 先進自治体も参考にしながら取り組んでいく。

問 市長は先の選挙において「人権教育の充実」を公約の一つに掲げていたが、その決意も含め総括的な見解は。

答〔市長〕 「子どもが主役の弥富市」を目指し、関連施策のさらなる充実に努めていく。



こども基本WEBサイトは、日本財団が運営しています。